

令和8年度（第2回）
スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）総会

IPCSA 活動報告・本年度の活動方針

農林水産省 大臣官房政策課 技術政策室長
阿部 尚人



IPCSA

農業者を中心とする多様なプレイヤーが参画
スマート農業技術の開発と普及の好循環の形成を推進

助言

運営委員

【運営委員長】

浅井 雄一郎 (株)浅井農園
代表取締役

佐藤 拓郎 (株)アグリーンハート
代表取締役

鈴木 貴博 (株)鈴生
代表取締役

平 勇人 (株)ファームノートデリー
プラットフォーム 代表取締役

内藤 祥平 (株)日本農業
代表取締役CEO

三浦 尚史 (株)三浦農場
代表取締役

三輪 泰史 (株)日本総合研究所
創発戦略センターチーフ
スペシャリスト

IPCSA事務局

農林水産省 農研機構

農業現場

スマート農業技術
の活用
＋
新たな生産方式

開発・供給

スマート農業技術等
の開発
＋
現場への供給

連携

生産性の高い食料供給の確立

1 情報の収集・共有・発信



専用サイトで
情報発信

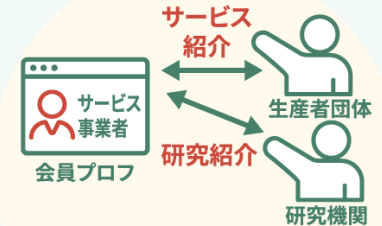


国内外の技術動向等の
調査の実施

2 関係者間のマッチング



各種イベントの
実施



専用サイトでの
会員間マッチング

3 人材の育成



全国各地の
研修情報
の整理・提供

内容・
テーマを
設定

IPCSA独自のモデル的な
研修を実施



【テーマ・内容案】

- スマート農業技術の有効活用
による経営改善ノウハウ
- スマート農業技術に適した新
たな生産方式の導入

4 技術的な検討

プラットフォーム

営農類型ごとの農業者を中心に設置し、
課題や技術開発・普及等について検討

水田作

畑作

露地野菜
・花き作

施設野菜
・花き作

果樹・茶作

畜産・酪農

検討会

プラットフォームの
枠を超えて対応す
べき課題を議論



1. 情報の収集・共有・発信

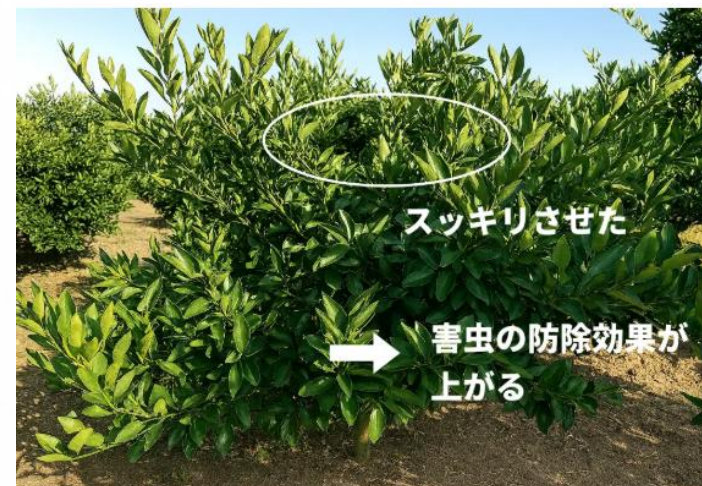
これまでの活動実績

- ✓ 会員**1700名**に到達
- ✓ Webサイト開設（総アクセス**27万**PV）
- ✓ 全国各地のイベント掲載数**200件**以上
- ✓ 毎週コラム等の発信（掲載数**90件**に到達）
- ✓ スマート農業技術の国内外の開発・実用化の動向を調査

令和8年度の取組

- ✓ 必要な情報にアクセスしやすくするため、**Webサイトリニューアル**（年内を予定）
- ✓ **会員限定コンテンツ**を充実（IPCSAイベントのアーカイブ動画閲覧など）
- ✓ 会員ニーズを分析し、発信する**情報を更に改善**

【情報発信例① コラム】



スマ農法に基づく 認定事例の紹介

（例：ドローンを活用した
農薬散布の精度を
高める柑橘樹形）

現場のリアルな取組
や成果を発信

【情報発信例② 海外調査報告】



（写真）FarmDroid ApS

海外のスマート農業 技術の実用化状況 の紹介

（例：ソーラーパネルを
搭載したデンマーク製の
株間除草ロボット）

海外の
マッチングイベントの
参加レポートも発信

2.関係者間のマッチング

これまでの活動実績

- ✓ **全国イベント**（農業Week、アグリビジネス創出フェア等）、**地域イベント**（9地域ブロックで開催したスマ農推進フォーラム等）と連携
- ✓ 独自の体験・実演イベントで、除草ロボット、ドローン、トラクターなど**25社**の製品・技術を紹介
（延べ**1200名以上**が参加）
- ✓ Webサイトに会員プロフィールや事業提案掲示板を掲載
- ✓ （プロフィール**1100件**以上、事業提案**19件**）

令和8年度スケジュール

実施済み
1

AGTS農業展 in 愛知

2026年6月23日 - 25日（Aichi Sky Expo）

2

農業WEEK

2026年10月7日 - 9日（幕張メッセ）

IPCSA主催タッチ & トライ開催予定

3

CEATEC 2026

2026年10月13日 - 16日（幕張メッセ）

4

アグリビジネス創出フェア

2026年11月11日 - 13日（東京ビックサイト）

5

AGTS農業展 in 群馬

2026年12月9日 - 11日（Gメッセ群馬）

⇒その他、地方開催イベントとも連携予定

2.関係者間のマッチング

農業WEEK連携イベント

「タッチ&トライ」 (2025/10/1-3)

開催概要

スマート農業技術の体験・実演イベントを農業者を農業関係者や一般来場者向けに開催

開催成果

来場者数：**1000人以上**
(約**9割**が参考になったと評価)
出展者数：**15社**
(出展者満足度：**7.2/10**)



出展者

- ✓ 来場者の質が高く、製品に関心のある方と深いコミュニケーションが取れた
- ✓ 今後の商談や連携につながる出会いがあった

参加者の声



来場者

- ✓ 体験型のブースが多くわかりやすかった
- ✓ カタログや動画では分からない大きさや音が実機体験でよく理解でき、具体的に導入を検討することができた



3.人材の育成

これまでの活動実績

- ✓全国各地の研修情報を収集し、Webサイトに**100件**以上掲載
- ✓「スマート農業を活かした農業経営」をテーマに研修を**3回**開催（延べ**100名**程度参加）

令和8年度の取組

- ✓先進農業者から他地域の農業者へのリアルな現場情報・気づきの共有（農業者による**実地指導**）
- ✓毎月末に**オンラインセミナー**開催

実施済み
1

JAたじまに学ぶ！ラジコン草刈機シェアリングで
草刈り革命 2026/6/5実施

実施済み
2

事例で考える！集出荷の省力化で現場の時間を取り戻す
2026/6/26実施

3

きゅうりトマトなすび・JA全農いしかわに学ぶ！
生成AIで“データ駆動の現場”をつくる 2026/7/31実施



3.人材の育成

オンラインセミナーvol.1 (2026/6/5)

「JAたじまに学ぶ！ラジコン草刈機シェアリングで草刈り革命
— 草刈り負担を減らし、地域の農地を守る —」

開催概要

リモコン式草刈機の共同利用で導入・運用コストを抑え、草刈り負担を軽減しながら地域の農地を守る方法を事例をもとに解説

講師

JAたじま青年部

参加者の声

- ✓ **高額な農機を「所有する時代ではない」という問題意識**に対し、シェアリングが有効な施策だと理解できた
- ✓ **JAのロールモデルとして有益**な情報共有だった
- ✓ 除草作業は人材不足により全国土で課題になっている、今後の**他地域での展開の参考**になる
- ✓ **シェア時のルール、規模、運用の具体情報**が得られた
- ✓ **質疑応答が充実**しており、聞きたい点が広くカバーされていた

【JAたじまによる事例紹介】



【チャット形式のQAタイム】

<< Teamチャットから質問受付中 >>

みなさまからのご質問待ちしております！

Q

11名くらいのシェアであれば、
現状重複などの問題は感じていないということであっていますか？
また、現状の2台ですと、
何名くらいまでが限界だと感じますか？

4.技術的な検討

これまでの活動実績

プラットフォーム

- ✓ 農業者が先頭に立って課題解決に取り組む議論の場として、**6 営農類型別にプラットフォーム**を設置
- ✓ 各営農類型で特有のテーマを設定し、議論を展開
- ✓ 先進事業者や**異分野企業**（AI、ロボット、**建設分野等**）も巻き込み

検討会

- ✓ プラットフォーム**横断的なテーマ**について議論する検討会を設置
- ✓ 「スマ農技術の導入判断に資する情報発信」について、農業者、普及組織、金融機関、農業経営コンサルなど**多様な関係者で議論**

令和8年度取組

プラットフォーム

- ✓ 包括的な議論を集約させていき、具体的な**アウトプット創出**を目指す
- ✓ 「**個別技術の効果的な活用方法**」、「営農類型の特性を踏まえた**優良な経営モデル**」の検討・整理に向けた議論を展開

検討会

- ✓ IPCSAサイトにおいて、散在している既存の**スマ農関連情報を一覧化**
- ✓ 技術の導入判断に資する**農業現場の共通の情報項目**等の検討

4.技術的な検討

各プラットフォームにおける議論の様子

PF	進行役	主な議論の様子
水田作	 佐藤 拓郎 (株)アグリーンハート 代表取締役	水田作の将来像を踏まえ、 スマ農技術を有効活用して規模拡大 している農業者の事例発表を通じて、 規模の大小 に分けて 経営課題と地域課題 への対応を議論
畑作	 三浦 尚史 (株)三浦農場 代表取締役	平場・中山間などに応じた 先進技術 （GNSSオートガイダンス等）の 導入可能性 や 土壌データ・分析等 を有効活用したスマート農業の展開
露地野菜・花き作	 鈴木 貴博 (株)鈴生 代表取締役	各品目に共通した重要課題である 出荷・流通におけるデータの活用・DX化 、スマ農技術を活用した 株間除草の省力化 について議論
施設野菜・花き作	 浅井 雄一郎 (株)浅井農園 代表取締役	生成AIやロボットなど 異分野の先端技術の開発・実用化 の状況を踏まえ、 施設栽培での活用可能性 （優良経営モデルの検討）について議論
果樹・茶作	 内藤 祥平 (株)日本農業 代表取締役CEO	各リンゴ産地の先進事例 を通じて、スマ農技術の導入効果の向上につながる 省力樹形 （高密植栽培等）の 有効性 を議論
畜産・酪農	 平 勇人 (株)ファームノート データプラットフォーム 代表取締役	畜種ごとの 経営・飼養管理におけるデータ収集・分析・活用方法 における課題と対応について、 畜種を超えた視点 で議論

会員 アンケート

IPCSAへのご要望受付中 7月31日(金)締切

オンライン セミナー

Vol.3 「きゅうりトマトなすび・JA全農いしかわに学ぶ！
生成AIで“データ駆動の現場”をつくる」

7月31日(金)13:00-14:00実施

マッチング イベント

農業WEEKにおいて**タッチ&トライ企画**を実施予定

10月7日(水)～9日(金)@幕張メッセ

IPCSA Webサイト

年内リニューアル予定

